



主日礼拝式プログラム 8:45~10:15am



賛美

「主イエスのみそばに」

「私たちは一つ」

「ただ一つの願い」

「主は良いお方」

献金

牧会祈禱

主の祈り

使徒信条

聖書箇所 ルカ福音書7章36節～50節 中山孝志

メッセージ 「私に示した愛の大きさで分かる」

ヤング肇子インターン生

聖餐式

賛美 「慕い求めます」

祝 禱

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって

一つとされ共に主を礼拝いたしましょう

お知らせ

- 本日の礼拝メッセージは、ヤング肇子さんです。ヤングさんは5日に帰国されます。
- 明日、9月4日(月)レイバーデー・ピクニックがあります。マジックショーもあります。どうぞお友達を誘ってご参加ください。ポトラックランチとなります。9AM～2PM
- 寺山晴乃さん、5日に日本に帰国します。
- 横谷直美さん ホノルル教会に教会籍を転入されました。10日の礼拝の中で転入式が持たれます。HCC神の家族へ心から歓迎いたします。
- 教団総会(LA 7日～9日) HCCからは、今井賢司さん、ノリコ・ペリーさん、後前門美恵子さん、関牧師が代議員として参加します。
- ウィークリーニュースに、祈りのコーナーを設けました。どうぞ、関牧師まで祈りのリクエストを送ってください。ウェブからも書き込みができます。
- マウイ島の被災のための義援金を募っています。チェックの宛先は.Honolulu Christian Church メモ欄に「マウイ支援」と明記。オンラインの場合は、「Crisis Found」を選択。

寄付先 : *Hawai'i Community Foundation*
DONATE TO THE MAUI STRONG FUND

献金



風の吹くままに



▼明日は、毎年恒例のレイバーデー・ピクニックです。どうぞお友達を誘って、ご参加ください。マジックショーは、本当のプロです。しかも聖書のメッセージを語りながらのショーです。マンパワーも必要です。テーブル、椅子、テント設営など、ご協力をお願いいたします。

▼「一寸先は闇」と言いますが、あそこで、もう少し身体を曲げていたら、あの時に…と考えると、本当に少しのことで結果は大きく違っていただろうと、後悔に捕られると光を失います。

人生「難有り」ですが、これを逆に読むと「有難い」に変わります。同じ道でも、方向が違くと見える風景が全く違ってきます。同じ出来事でも、どこからその出来事を見るかで、その苦難が、感謝に変えられます。

私たちは、どこに立ち、どちらを向いているのでしょうか。立ち位置と方向、これが人生においてとても重要な要点なのだと思います。



関真士牧師

sekishinji89@gmail.com

2023年度聖句

神の命令を守ること、それが、神を愛することです。神の命令は重荷とはなりません。

Ⅰヨハネの手紙 5章3節

スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



分かち合いのポイント

①この罪深い女の立場になって考えてみましょう。彼女がここまでの献身の思いに満たされたのは、なぜだでしょうか。

②このファリサイ人の立場になって考えましょう。なぜ、この女性の行為を批判したのでしょうか。

③多く赦された者は、多く愛する。自分の主への愛は、どれほど多いでしょうか。

さて、あるファリサイ派の人が、一緒に食事をしてほしいと願ったので、イエスはその家に入って食事の席に着かれた。この町に一人の罪深い女がいた。イエスがファリサイ派の人の家に入って食事の席に着いておられるのを知り、香油の入った石膏の壺を持って来て、後ろからイエスの足もとに近寄り、泣きながらその足を涙でぬらし始め、自分の髪の毛でぬぐい、イエスの足に接吻して香油を塗った。イエスを招待したファリサイ派の人はこれを見て、「この人がもし預言者なら、自分に触れている女がだれで、どんな人か分かるはずだ。罪深い女なのに」と思った。そこで、イエスがその人に向かって、「シモン、あなたに言いたいことがある」と言われると、シモンは、「先生、おっしゃってください」と言った。イエスはお話になった。「ある金貸しから、二人の人が金を借りていた。一人は五百デナリオン、もう一人は五十デナリオンである。二人には返す金がなかったので、金貸しは両方の借金を帳消しにしてやった。二人のうち、どちらが多くその金貸しを愛するだろうか。」シモンは、「帳消しにしてもらった額の多い方だと思います」と答えた。イエスは、「そのとおりだ」と言われた。そして、女の方を振り向いて、シモンに言われた。「この人を見ないか。わたしがあなたの家に入ったとき、あなたは足を洗う水もくれなかったが、この人は涙でわたしの足をぬらし、髪の毛でぬぐってくれた。あなたはわたしに接吻の挨拶もしなかったが、この人はわたしが入って来てから、わたしの足に接吻してやまなかった。あなたは頭にオリーブ油を塗ってくれなかったが、この人は足に香油を塗ってくれた。47だから、言うておく。この人が多くの罪を赦されたことは、わたしに示した愛の大きさで分かる。赦されることの少ない者は、愛することも少ない。」そして、イエスは女に、「あなたの罪は赦された」と言われた。同席の人たちは、「罪まで赦すこの人は、いったい何者だろう」と考え始めた。イエスは女に、「あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい」と言われた。

ホノルルキリスト教会

2207 OAHU AVENUE, HONOLULU, HI 96822



日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335

Email : office@honoluluchristian.church

週報



賛美の御言葉 詩篇 34篇1～3節

私はあらゆるときに 主をほめたたえる。私の口にはいつも主への賛美がある。私のたましいは主を誇る。貧しい者はそれを聞いて喜ぶ。私とともに主をほめよ。一つになって 御名をあがめよう。